

浄水器内蔵水栓
AWJSA2HSK型
取付設置説明書

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

警告表示と注意表示の定義について

この設置説明書記載の警告事項 **△警告**、**△注意** の区別について

△警告 取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

△注意 取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。図の中や近くに具体的な行為が描かれています。

○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● 記号は強制（必ず実行してほしい）したり指示する内容を告げるものです。

※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

△警告

○ 禁止 湯水を逆に配管しない
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

○ 禁止 この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

1-2 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

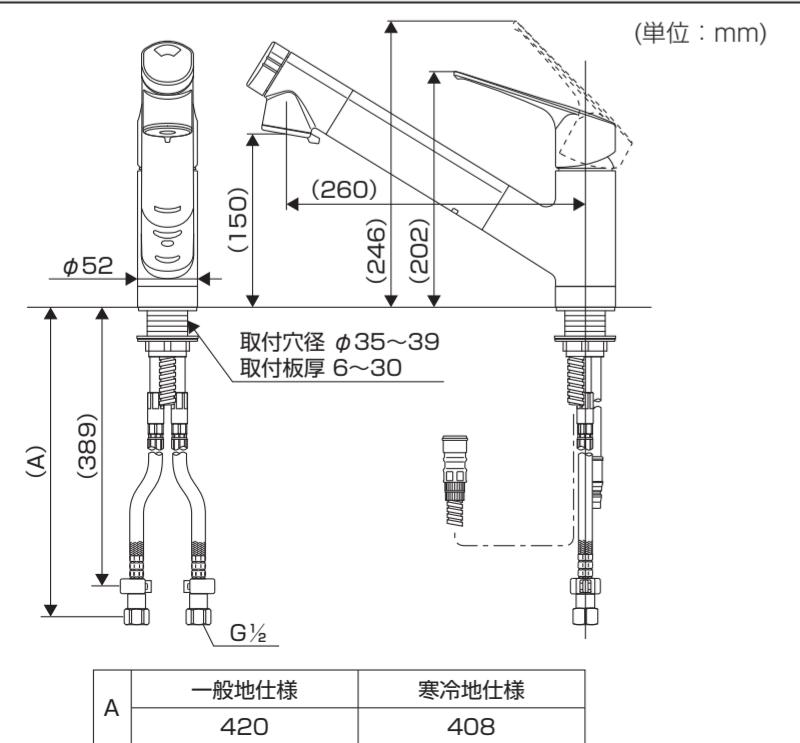
△注意

● 必ず守る 水道水および飲用可能な井戸水を使用する
故障や水漏れの原因となります。
また、体調を損なうおそれがあります。

● 必ず守る 凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに
保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、凍結予防を確実に行う
部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

2 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なりますが寸法は共通です。

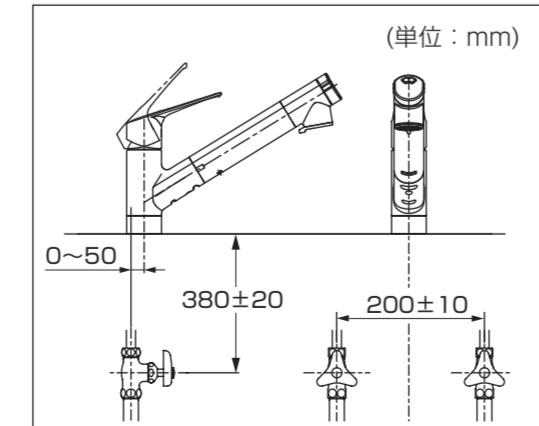


3 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		60°C 以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1 ~ 40°C
	寒冷地用	- 20 ~ 40°C (ただし、0°C以下は水を抜いた状態)
用 途		一般住宅台所用

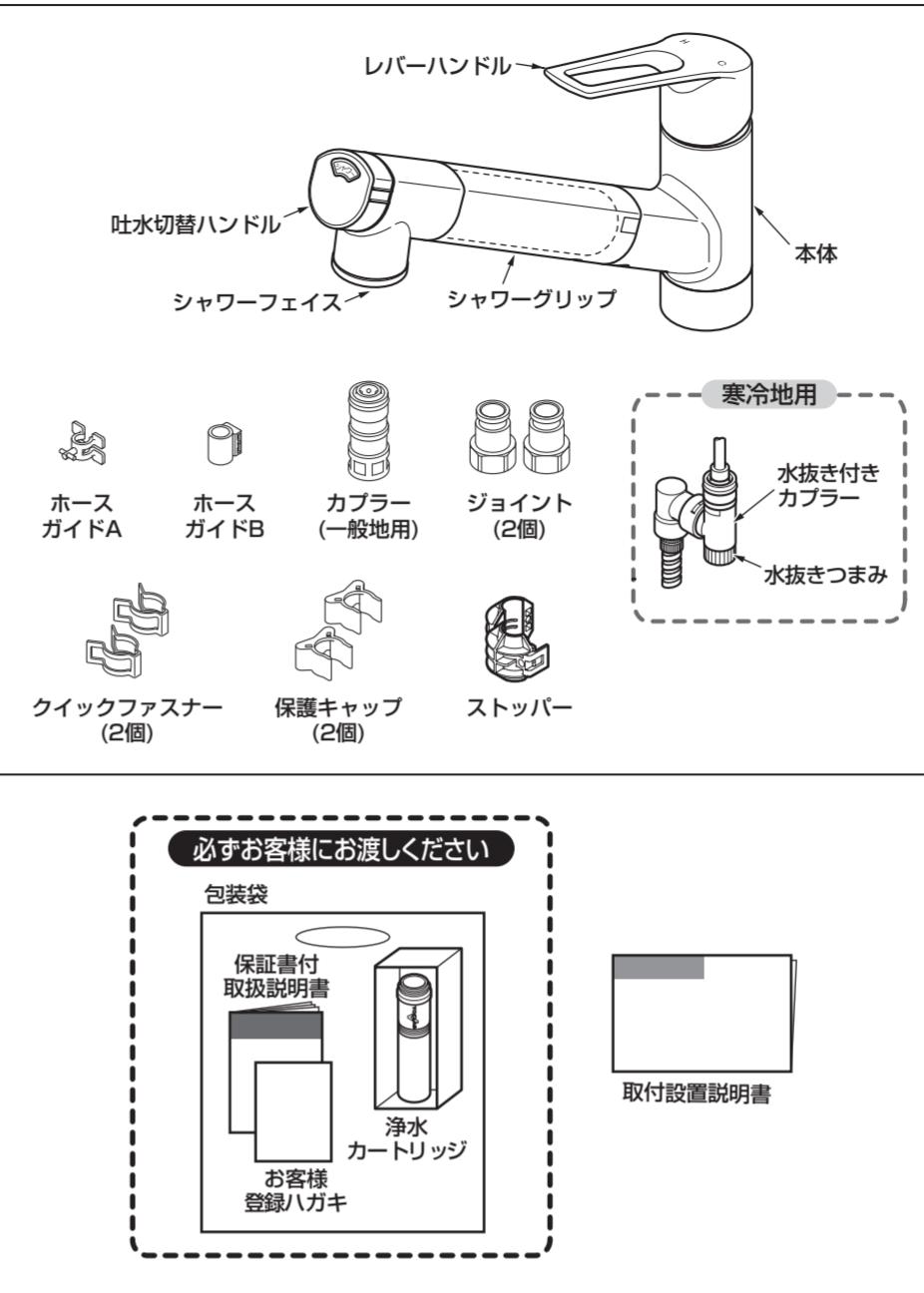
4 取り付け前に

- 給水圧が 0.75MPa を超える場合は、市販の減圧弁で 0.2 ~ 0.3MPa 程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2 ~ 0.3MPa 程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 浄水カートリッジ保護のため、給湯温度は 60°C 以下に設定してください。
- 給湯機器からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機器の場合、給湯機器の能力・水圧などの条件により、給湯機器が着火しないことがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。(ただし、浄水カートリッジは未通水)
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず用意ください。右図に示す範囲内の止水栓位置にて、取り付けが可能です。

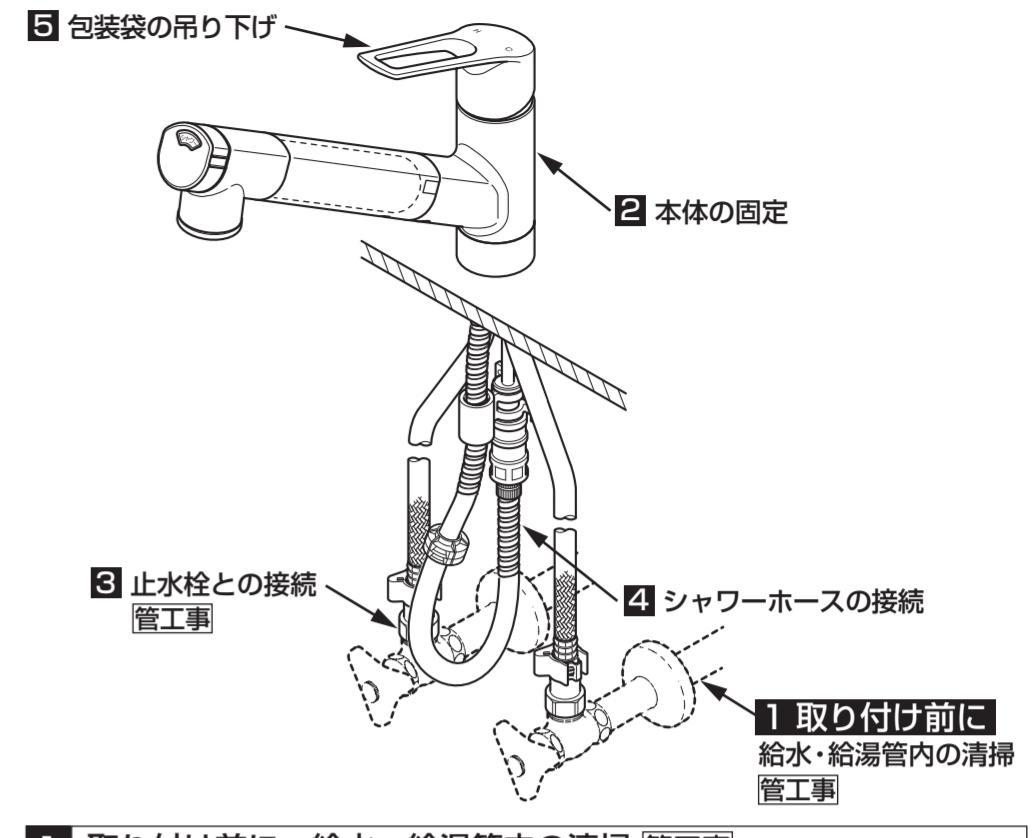


5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



6-1 取り付け手順



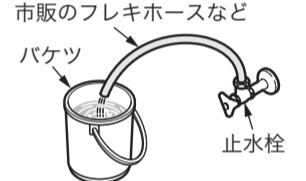
1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃 管工事

止水栓を取り付け、水栓を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

△注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが詰まり、以下の事象が発生する
①吐水量が少ない
②温度調節がうまくできない

市販のフレキホースなどとパッケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

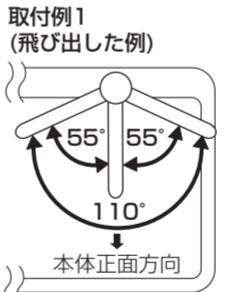


6-2 取り付け手順

2 本体の固定

<本体の取り付け位置について>

取り付け位置によって吐水の先端がシンクから飛び出す場合があります。(取付例 1)
正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(取付例 2)
その際、レバーハンドルの左右中央位置もずれますのでご注意ください。(レバーハンドルの左右中央位置はトクラスロゴシールの位置となります) 位置調整は、ブレードホースが取付できる範囲内で行ってください。



トクラスロゴシール
レバーハンドルの左右中央位置

△注意

セパレート紙は必ずはがす
はがさずに固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

本体保持工具 G26 (KVK 製) を使用して本体を保持する
締め付けの際、シャワーヘッドや本体、レバーハンドルを持つと破損、漏水するおそれがあります。

座付きナットの締め付けは、締付工具 KPS955 (KVK 製) で確実に行う
確実に締め付けないと本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

<本体の固定>

①取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがし、トクラスロゴシールが正面にくるように本体を差し込みます。
②下図の順にパッキン類を差し込み座付きナットで締めつけ本体を完全に固定します。

